

# きらめき通信 Vol. 8

みなさん、こんにちは。『きらめき通信 Vol. 8』では、きらめきプロジェクト所属の九州大学病院第二外科勤務の徳永えり子先生に自己紹介させていただきます。

以下

消化器・総合外科（第二外科）勤務の徳永えり子です。専門は乳腺外科です。平成19年に文部科学省のプロジェクトとして、「女性医療人きらめきプロジェクト」が始まって以来、「きらめきプロジェクト」にお世話になっています。現在は、双子の幼稚園児の育児と乳腺外科医としての仕事を両立すべく、日々奮闘中です。このようにできるのも、上司や同僚、家族、周囲の人々の理解や協力のおかげと感謝しております。

「きらめきプロジェクト」では思うように働けない状況でも意欲と向上心をもって何とかしたいとがんばっているいろいろな科の医師・歯科医師と知り合いになることができました。また、講演会、学生交流会などの活動を通じて、女性医師・歯科医師の働く現状、女性が働くとはどういうことか、男女共同参画や育児支援などについて、多くの情報を得、考える機会を得ています。出産、育児、介護など様々なライフイベントと仕事をどのように両立させていくか、という問題は、決して医療人にもみ限られたことではなく、どの職種においても共通する課題が多くあります。そしてその問題は、女性のみでは決して解決できるものでもありません。男女を問わず重要な社会問題として共通の認識を持つことが望まれます。

最近、女性医師支援については、種々の学会などでも主要な問題として取り上げられるようになってきました。これは女性医師の優遇ということではありません。女性医師の能力を活かすことは、医療界にとって重要なことであり、男性医師の労働環境改善や医療レベルの向上、患者の利益にも大きく関係することです。女性医師の活躍が求められる場面も多くなっています。労働時間の短長ではなく、成果が評価されるようになればと思います。私達も「女性医師支援」という言葉に甘えるのではなく、医師としての使命感・責任感を持ち、努力していくことももちろん必要です。

きらめきプロジェクトに参加させていただくことにより、これまでよりも広い視野が得られたのではないかと思います。これからもきらめきプロジェクトでは様々なイベントを行います。皆さんも是非参加してみませんか？きっと有益な情報が得られることと思います。そして一緒に考えていきましょう。

九州大学病院 きらめきプロジェクト キャリア支援センター  
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

MAIL: [kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp)

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>



☆仕事と育児を両立させながら日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター（医師2名）を紹介します。

### ☆自己紹介

卒後7年目の皮膚科医です。現在6カ月の子供がいます。きらめきプロジェクトでは、週一回6時間の勤務です。昨年3月までは一般病院でフルで働いていましたが、妊娠を期に医局からきらめきプロジェクトへの応募をすすめられ、4月から週3回で採用して頂きました。7月末に出産し、育休はとれないので、産後8週で復帰しました。

### ☆きらめきプロジェクトに所属してからの生活

車がなかったのも、大きなお腹をかかえて朝の満員電車に乗ったり、炎天下の中、歩かなければならなかったり、大学に通勤することも一仕事でした。妊娠中にハードな勤務をしていると切迫早産で入院することが多いそうです。私は週3回の非常勤にして頂いたことで、無理なく勤務が継続できたと思います。大きいお腹で仕事をしていると、患者さんが声をかけてくださったり、先輩医師や看護師の方がアドバイスしてくださったりしてとても嬉しかったです。時間に余裕ができたので論文を一本書く事もできました。また、きらめき主催の講演会では大変活力のある女性の先輩方のお話が聞けて、刺激になりました。

復帰した最初の日はまだ2カ月のわが子をたった数時間ですが保育園に預けることでドキドキして、勤務中も子供が泣いていないか、そればかり考えてしまいました。迎えにいくと案外平気そうだったのでちょっと拍子抜けしました。

今はファミリーサポートセンター（一般家庭で託児をする組織）からの紹介で、大学近くに住んである方の自宅で預かってもらっています。最近人見知りをするようになって泣くのでちょっと大変ですが、わが子の笑顔は何よりの癒しです。

### ☆最後に

一般病院では、基本的にフルで勤務できなければ働くことが難しいので、妊娠や出産をしたらしばらく仕事はできないのだろうかとか大変不安に思っていました。非常勤でも仕事を継続できるという制度は素晴らしいと思います。このような勤務制度を求めている女性はたくさんいると思います。妻や母としてだけ毎日を送るのではなく、自分の人生としてキャリアアップをしていくことができるステップを与えてくださったことに感謝しています。

### ☆自己紹介

卒後5年目の医師です。九大病院にて2年間臨床研修を行い、第三内科に入局後、関連病院で内科レジデントとして勤務していました。研修医2年目で結婚、医師4年目で妊娠、出産し、子供は今1歳3カ月です。今年度より、きらめきプロジェクトに在籍させていただき、大学では週2回（4時間/日）の勤務をしています。

### ☆きらめきプロジェクトに応募するきっかけ

医師としての経験が浅い中での妊娠は喜びよりも不安の方が大きかったかもしれません。できるだけブランクをあけたくなかったのですが、自分の不器用な性格や体力的なものを考えると、初めての育児とフルタイム勤務の両立は問題が山積みでした。どんな形であれ、医師という仕事は続けたかった為、少しずつでもできることを積みかさねていこうと思い、妊娠中に内科認定医を取得、出産後、子供が小さいうちは技術面でのスキルアップを主な目標に、症例数を重ねていきたいと考えていました。そんなとききらめきプロジェクトの存在を知り、応募させていただきました。

### ☆主なスケジュール

月曜日は外病院での勤務、火曜日と水曜日が大学勤務です。大学では腹部エコーを行い、外病院では胃カメラの研修を行っています。勤務日のみ自宅近くの保育園の一時保育をフル活用しています。休みの日は公園や図書館のおはなし会、児童会館に行って子供とたくさん遊ぶように心がけていますが、週はじめに保育園で何かしら病気をもらうのか、水曜日の午後には保育園から呼び出され、週末は看病、月曜日何とか回復し、通常勤務へ・・・というケースも少なくありません。

### ☆最後に

きらめきプロジェクトには仕事や育児に対してモチベーションの高いママ達がたくさんいるのでとてもいい刺激を受けています。同じような境遇である先輩ママのお話はいつも色々なヒントを与えてくれ、とても前向きになれます。きらめきプロジェクトへ在籍できた事は本当に大きかったと実感しています。

また、医局・研究室の先生方も理解を示し、温かく接して下さることにとても感謝しています。

そして、子供の成長と夫の支え、困った時には嫌な顔せず手伝いに来てくれる両親、すべての人に感謝の気持ちを忘れず、これからも努力していきたいと思っています。

# きらめきプロジェクトからのお知らせ

## 九州大学病院 きらめきプロジェクト 第2回スタッフ研究発表会

日時 平成24年 3月30日 (金) 11:00~16:00

会場 九州大学病院・外来診療棟5階 会議室2

九州大学病院きらめきプロジェクトスタッフによる、1年間の活動報告をポスターでご紹介いたします。一般の方も含めて三々五々、お気軽にご来場下さい。交流スペースも設けております。

鮎川三恵

尾崎佳奈

大和陽子

中尾和子

下地史麻

岩崎直子

萩野千佳子

手嶋美穂

長曾我部竜

榎木晶子

城戸瑞穂

佐野佳名子

垣波千香子

辻郷知世

徳永えり子

樋口睦美

吉田綾子

伊原喜子

雨宮直子

岩城理恵

柴田舞欧

迫真矢子

光安 彩

小菌可奈

医師

歯科医師

事務補佐

九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター

TEL/FAX: 092-642-5203

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com/>

Mail: [kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp)

主催: 九州大学病院 共催: NPO法人九州医療システム研究機構・総合メディカル株式会社

参加自由です。  
みなさまのご来場お待ちしております♪